

自治基本条例に関する講話会 アンケート結果

参加者の割合

男性	19人
女性	8人
合計	27人

アンケート回答の性別

男性	19人
女性	8人
合計	27人

回収率	100%
-----	------

回答者の年代

10代	男性	0人
	女性	0人
	合計	0人

20代	男性	7人
	女性	0人
	合計	7人

30代	男性	3人
	女性	2人
	合計	5人

40代	男性	2人
	女性	1人
	合計	3人

50代	男性	4人
	女性	2人
	合計	6人

60代	男性	1人
	女性	1人
	合計	2人

70代以上	男性	2人
	女性	2人
	合計	4人

講話会に参加してよかったですか

とても良かった	7人
良かった	16人
普通	3人
あまり良くなかった	1人
良くなかった	0人

講話会の内容は分かりやすかったですか

とても分かりやすかった	9人
分かりやすかった	13人
普通	3人
難しいかった	2人
とても難しいかった	0人

講話をきいて、感じたことをご記入ください

- ・質問にもありましたが、町民に関心をもってもらう努力の必要を感じました。
- ・先進自治体の条例について、もう少し具体例を挙げて説明いただけると理解しやすいと思いました。「難しい」という先入観があるので、興味、関心を持ってもらうアプローチが必要だと思います。
- ・多くの自治体が制定し、自治体が一つの自律した個として活動をしていくには重要な取組みだということがわかりました。住民と協働で策定を進めていくことが重要ということで、時間がかかり、理解を深めてもらうには難しい面も多いと感じますが、今回の講話会のような活動を進め、知ってもらうことも大切だとわかりました。

- ・コンパクトにご説明いただきました。
- ・知識は住民にも必要だが、行政職員により具体的な例を入れながら今後も勉強会が必要ではないか。
- ・自治基本条例の制定のデメリットはあるのでしょうか。地域の現状を踏まえて条例を規定しないといけないので、将来改定していく必要があると知りました。住民主体となると、どう住民を町政に関心を持たせるかアイデアも必要になる。若い世代にも関心を持たせ、参加することでよいまちづくりができるのかなと思いました。
- ・条例、規則を自治基本条例に基づき改正する必要があります。
- ・策定する上で自治体の個性を再確認することが必要であるという点に興味を持ちました。
- ・町民に対してよく周知させることが大切と思われま。
- ・策定するまでは大変ですが自治体の役割を果たすためには必要不可欠と思いました。
- ・自治基本条例は、条例の最高法規となると聞き、とても重要な条例だと認識できた。
- ・制定に向けての心構えが理解できた。
- ・条例策定後、機能していない市町村があるということだったので、策定後の運用が課題であると感じた。また、自治基本条例が何かを周知するため、広報でコラムとして継続して掲載することが必要だと感じた。
- ・自治基本条例と住民がいかに関わるか、今後の進展がとても気になりました。
- ・多くの住民にまず関心を持ってもらい、そこから多くの意見を聴くことが第一だと感じました。
- ・住民主体のまちづくりは結構な話だが、住民がこれを理解し、それなりの責任を負う必要がある。住民はこれを良しとするのか疑問。制定する上では、住民も勉強し、それなりの負担を負う必要がある。他人に決めてもらった方が楽だと考える人も多いのではないか(特に利根町の場合)